

## 第 4 回アジア・スマートシティ会議開催報告

アジア新興国都市や国際機関等の代表者とともに

### 第 4 回アジア・スマートシティ会議宣言(横浜宣言)を発表

#### 1. 概要

環境未来都市である横浜市では、公民連携による国際技術協力事業「Y-PORT 事業」を実施しています。その一環として、アジア新興国諸都市の市長や国際機関等の有識者が一堂に会し、持続可能な都市づくりの実現に向けた知見を共有する「アジア・スマートシティ会議」を平成 24 年から開催しています。

第 4 回となるアジア・スマートシティ会議では、21 都市の市長や行政長官などの政策決定者や、日本政府、国際機関、学術機関、民間企業など 30 を超える組織・機関からの参加がありました。

今回議論した内容は「第 4 回アジア・スマートシティ会議宣言(横浜宣言)」として採択されました。宣言は、翌 10 月 21 日(水)にインドネシア・ジャカルタで開催された、国連アジア太平洋経済社会委員会の「第 6 回アジア太平洋都市フォーラム」に報告されました。

#### 2. 内容

- ・ 午前中は、4つの分科会テーマにより、各都市・機関等の代表者から発表を行い、議論を行いました。
  - ①第 1 分科会：都市間連携を通じた持続可能な都市開発の推進
  - ②第 2 分科会：PPP 手法によるインフラ開発に向けて都市のリーダーが担うべき役割
  - ③第 3 分科会：スマートテクノロジーによる新たな都市イノベーションの共創
  - ④第 4 分科会：持続可能な都市開発を促進する評価指標
- ・ ランチ会場では、横浜市内企業等による展示などを通じ、アジア・スマートシティ会議参加者とのビジネスマッチングが図られました。
- ・ 午後の全体会議のオープニングセッションは、林市長による開会挨拶に続き、濱地外務大臣政務官、小林環境省地球環境審議官、玉木経済協力開発機構(OECD)事務次長から基調講演をいただきました。
- ・ ラウンドテーブルセッションでは、各分科会の議論を持ち寄り、都市の課題や各機関のもつ技術や知識について共有しました。IGES 森所長からは、アジア・スマートシティ会議を都市や国際機関が知見を共有する場とし、「アジア・スマートシティ・アライアンス」としてネットワーク化することが提案されました。
- ・ クロージングセッションでは、アジア開発銀行のマリア・カルメラ・ロシン持続的開発・気候変動局長から特別講演をいただいた後、第 4 回アジア・スマートシティ会議で議論した内容を「第 4 回アジア・スマートシティ会議宣言(横浜宣言)」としてまとめ、林市長及びマイムナー・モハド・シャリフ・セベランペライ市長が発表し、参加者に採択されました。
- ・ 閉会挨拶では、地球環境戦略研究機関(IGES)浜中理事長から、都市の力が世界的に重要と認知されてきており、支援する国際機関等も含め、スマートであり、低炭素であり、強靱な都市に向け、互いに協力していくことへの更なる期待が述べられました。

## 開催概要

日時： 平成 27 年 10 月 20 日（火） 9:30-17:00

場所： ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

主催： 横浜市

後援： 内閣府、外務省、経済産業省、国土交通省、環境省、国際協力機構(JICA)、  
地球環境戦略研究機関(IGES)、横浜市立大学

参加都市： プノンペン特別市(カンボジア)、バタム市(インドネシア)、バタムフリーゾーン監督庁(インドネシア)、マカッサル市(インドネシア)、北九州市(日本)、ビエンチャン首都圏庁(ラオス)、マラッカ市(マレーシア)、ペナン市(マレーシア)、セベランペライ市(マレーシア)、ウランバートル市(モンゴル)、バギオ市(フィリピン)、メトロセブ開発調整委員会(フィリピン)、セブ市(フィリピン)、マカティ市(フィリピン)、サンフェルナンド市(フィリピン)、コロンボ市(スリランカ)、バンコク都(タイ)、ラヨン県(タイ)、ダナン市(ベトナム)、フエ市(ベトナム)、横浜市(日本) ※21都市、国名アルファベット順

参加機関： 日本政府(内閣府、内閣官房、外務省、経済産業省、国土交通省、環境省)、アジア開発銀行(ADB)、C40、シティネット、イクレイ、IGES、国際協力銀行(JBIC)、JICA、経済協力開発機構(OECD)、国際連合人間居住計画(UN-HABITAT)、世界銀行、横浜アーバン・スマート・ソリューション・アライアンス、横浜国立大学、横浜市立大学など

## 10月20日(火) アジア・スマートシティ会議

### 【分科会】

#### ●分科会



第1分科会



第2分科会



第3分科会



第4分科会

#### ●ランチ・ビジネスマッチング



## 【全体会議】

### オープニングセッション

#### ●集合写真撮影



#### ●開会挨拶 横浜市長 林 文子



#### ●基調講演 外務省 外務大臣政務官 濱地 雅一 氏



#### ●基調講演 環境省 地球環境審議官 小林 正明 氏



#### ●基調講演 OECD 事務次長 玉木 林太郎 氏



## ●ネットワーキングブレイク



## ラウンドテーブルセッション

### ●ラウンドテーブルセッション

モデレーター：IGES 所長

森 秀行 氏

パネリスト：前 ADB 副総裁

ビンドゥ・ロハニ 氏

日経BPクリーンテック研究所 所長 望月 洋介 氏

シティネット事務局長兼世界資源研究所(WRI)シニアフェロー

ビジェイ・ジャガナサン 氏

ファウンダシオ・メトロポリ 代表

アルフォンソ・ベガラ 氏

横浜市国際局国際協力部長

橋本 徹



## クロージングセッション

### ●特別講演

アジア開発銀行 持続的開発・気候変動局長

マリア・カルメラ・ロシン 氏



●第4回アジア・スマートシティ会議(横浜宣言)

セベランペライ市長  
横浜市長

マイムナー・モハド・シャリフ 氏  
林 文子



●閉会挨拶 IGES 理事長 浜中 裕徳氏



10月21日(水) 視察

日 時：平成 27 年 10 月 21 日(水) 9:30-12:00

参加者：第4回アジア・スマートシティ会議参加者(任意) 35 名

行 程：10:00 日産自動車グローバル本社ギャラリー (横浜市西区高島1丁目1-1)  
10:50 エネマネハウス 2015 (横浜市西区高島1丁目2-73)

●日産自動車グローバル本社ギャラリー



●エネマネハウス 2015



集合写真



【環境未来都市】  
環境問題や超高齢化への対応などの様々な社会的課題に総合的に取り組んで活力ある都市をつくる、国家的なプロジェクトのひとつです。  
横浜市は、平成23年12月、国から「環境未来都市」に選定されました。

## 第4回アジア・スマートシティ会議

### 参加都市

	都市	国	役職	氏名
1	プノンペン特別市	カンボジア	行政局副局長	Mr. Huot Hay
2	バタム市	インドネシア	環境局長	Mr. Dendi Purnomo
3	バタム・インドネシア・フリーゾーン監督庁 (BIFZA)	インドネシア	副長官	Mr. Jon Arizal
4	マカッサル市	インドネシア	地域環境局長	Mr. Muhammad Masri Tiro
5	北九州市	日本	環境国際戦略担当理事	石田 謙吾
6	ヴィエンチャン首都圏庁	ラオス	総務局長	Prof. Douangsavanh Linkham
7	マラッカ市	マレーシア	エンジニアリング部 ディレクター	Mr. Ahmad Roslee Hamzah
8	ペナン市	マレーシア	都市開発ディレクター	Mr. Roslan Ramly
9	セランベライ市	マレーシア	市長	The Honorable Maimunah Mohd Sharif
10	ウランバートル市	モンゴル	戦略計画課長	Mr. Bayarbaatar Sandagdorj
11	バギオ市	フィリピン	環境・公園マネジメントオフィサー	Ms. Maria Adelaida Coloma Lacsamana
12	セブ州(MCDCB)	フィリピン	メトロセブ開発調整委員会調査プログラム組織開発執行委員会副委員長	Ms. Dominica Bardinas Chua
13	セブ市	フィリピン	市長	The Honorable Michael L. Rama
14	マカティ市	フィリピン	市長上級顧問	Ms. Violeta Somera Seva
15	サンフェルナンド市	フィリピン	行政長官	Ms. Annjanette E. Dimaculangan
16	コロンボ市	スリランカ	財務部長	Mr. Korlage Don Chithrapala
17	バンコク都	タイ	知事最高顧問	Dr. Vallop Suwandee
18	ラヨーン県	タイ	教育・宗教・文化課 教育担当	Ms. Donlapat Lalidsirajan
19	ダナン市	ベトナム	人民委員会副委員長	Mr. Nguyen Ngoc Tuan
20	フエ市	ベトナム	国際協力センター ディレクター	Mr. Nguyen Ich Huan
21	横浜市	日本	市長	林 文子
			副市長	鈴木 伸哉
			温暖化対策統括本部副本部長	黒水 公博
			国際局国際協力部長	橋本 徹

## 第4回アジア・スマートシティ会議

### 参加政府・機関等

日本政府			
No.	組織名	役職	氏名
1	内閣府	地方創生推進室 参事官	高島 昌明
2	内閣官房	副長官補付内閣参事官	久島 直人
3	外務省	外務大臣政務官	濱地 雅一
		国際協力局 開発協力総括課長	宮下 匡之
4	経済産業省	通商政策局 国際経済課長補佐	町井 弘明
5	国土交通省	都市局 総務課国際室長	福永 真一
	株式会社海外交通・都市開発事業支援機構	シニアダイレクター	河田 浩樹
6	環境省	地球環境審議官	小林 正明
		地球環境局 国際連携課 国際協力室 室長	木野 修宏
国際機関・民間企業			
No.	組織名	役職	氏名
7	アジア開発銀行	持続的開発・気候変動局長	Ms. Maria Carmela Dinglasan Locsin
		都市・水セクター技術相談役	Mr. Vijay Padmanabhan
		公民連携部ディレクター兼技術相談役	小池 武生
8	アブ・ポイント	最高技術責任者	Mr. Dux Raymond Sy
9	C40 世界大都市気候先導グループ	東南アジア・オセアニアディレクター	Ms. Milag San Jose- Ballesteros
10	シティネット/世界資源研究所(WRI)	事務局長/シニアフェロー	Dr. Vijay Jagannathan
11	フィラバルセロナ(バルセロナ見本市協会)	スマートシティエキスポ・ワールドコンgres ディレクター	Mr. Luis Gómez
12	ファンダシオ・メトロポリ / Y-PORTセンターアドバイザー	代表	Dr. Alfonso Vegara
13	日本アイ・ビー・エム株式会社	スマーター・シティ事業 第二社会インフラ事業開発部長	加茂 義哉
14	イクレイー持続可能性をめざす自治体協議会	一般社団法人イクレイ日本 事務局長	大塚 隆志
15	公益財団法人地球環境戦略研究機関	理事長	浜中 裕徳
		所長	森 秀行
		気候変動とエネルギー領域 エリアリーダー/上席研究員	小塚 一久
16	株式会社国際協力銀行(JBIC)	インフラ・環境ファイナンス部門 社会インフラ部第2ユニット ユニット長	茂垣 克也
17	独立行政法人国際協力機構(JICA)	技術審議役	岩間 敏之
18	JFEエンジニアリング株式会社	海外統括本部 部長代理	高橋 元
19	KPMGあずさサステナビリティ株式会社	ディレクター	Mr. Stuart Kay
20	株式会社日経BP	日経BPクリーンテック研究所 所長	望月 洋介
21	経済協力開発機構(OECD)	事務次長	玉木 林太郎
22	ブライスウォーターハウスコーパス株式会社	都市ソリューションセンター 副センター長	長田 英知
23	国際連合人間居住計画(UN-Habitat)	人間定住オフィサー	Mr. H. E. A. Laxman Perera
24	世界銀行	東京開発ラーニングセンター 上席TDLCプログラム担当官	Mr. Daniel A. Levine
		上席エコノミスト	Dr. Hyong Gun Wang
		リードアーバンスペシャリスト	Mr. Victor Manuel Vergara
25	横浜アーバン・スマート・ソリューション・アライアンス / 株式会社ファインテック	会員 / 代表取締役	岡田 素行
大学			
No.	組織名	役職	氏名
26	横浜国立大学	大学院都市イノベーション研究院 研究院長	佐土原 聡
27	横浜国立大学	グローバル都市協力研究センター長	青 正澄
		グローバル都市協力研究センター シニアプロジェクトマネージャー 特任教授	井村 秀文
Y-PORTセンターアドバイザー			
No.	Y-PORTセンターアドバイザー	その他所属	氏名
28	Y-PORTセンターアドバイザー	前ADB副総裁	Dr. Bindu N. Lohani
29	Y-PORTセンターアドバイザー	成蹊大学 名誉教授	廣野 良吉

## 4th Asia Smart City Conference “Yokohama Declaration”

For the past 4 years, we have held the Asia Smart City Conference with an aim to enhance city to city collaboration and partnership among cities and related international institutions with the purpose of achieving sustainable growth in Asia.

In order to reinforce the outcomes of the past three conferences and based on the spirit of the 1st Asia Smart City Conference Declaration, we have agreed upon the following:

1. At the 4th Asia Smart City Conference, 21 cities, international institutions and specialized institutions came together, bringing various issues and expertise to the table, and held practical discussions aimed at realizing livable and sustainable society.

Specifically, opinions from various specialized and technical points of view were exchanged on the following four themes:

- 1) City to city cooperation towards sustainable urban development
- 2) Roles of city leaders to attract high quality involvement of private sector
- 3) Co-create urban solutions through smart technology
- 4) Indices to facilitate sustainable urban development

2. The conclusion that emerged from these discussions was that for each city to righteously evolve further, it is essential for each city leader to exhibit strong leadership, in cooperation with citizens and business entities, to ensure its sustainability through smart city management.

3. The cities and the other supporting agencies in this Asia Smart City Conference declare to form an Asia Smart City Alliance. This alliance will enable members to link with one another to play active roles in contributing to smart sustainable development in Asia.

4. We would like to propose this declaration to the Chair’s Summary of the 6<sup>th</sup> Asia Pacific Urban Forum of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific, which will be convened in Jakarta, Indonesia on the 21st of October 2015.

## 第4回アジア・スマートシティ会議における「横浜宣言」

私たちは過去4年にわたり、都市間相互の協力と連携をさらに深め、関係国際機関とともにアジアの持続可能な成長を目指して「アジア・スマートシティ会議」を開催してきました。

第3回までの会議の成果及び第1回の「アジア・スマートシティ会議宣言」の精神に基づき、以下のことに合意しました。

1. 第4回アジア・スマートシティ会議において、21の都市、国際機関、専門機関が一堂に会し、住みやすく持続可能な社会の実現のため、各々の課題や知見を集約するとともに実践的な議論を行いました。

具体的には、それぞれの専門的、技術的見地から、以下の4つのテーマによる意見交換を行いました。

- 1) 都市間連携を通じた持続的な都市開発の推進
- 2) PPP手法によるインフラ開発に向けて都市のリーダーが担うべき役割
- 3) スマートテクノロジーによる新たな都市イノベーションの共創
- 4) 持続可能な都市開発を促進する評価指標

2. これらの議論を通じ、今後、各都市が更なる成長を実現するためには、各都市のリーダーが強力なリーダーシップを発揮し、市民や企業と協力しつつ、持続性を確保していくことが重要との示唆を得ました。

3. 今回のアジア・スマートシティ会議に参加している都市及び支援機関により、アジア・スマートシティ・アライアンスを形成することをここに宣言します。このアライアンスを通じて、各メンバーが積極的な役割を果たし、アジアの持続的成長に貢献するために、ともに手を携えていきます。

4. この宣言を、2015年10月21日にインドネシア国ジャカルタで開催される国連アジア太平洋経済社会委員会の第6回アジア太平洋都市フォーラムにおける議長サマリーに提案いたします。